

# 野口ようすけと通信

☆ひとが育つまちづくり☆

## 星のまち ほつと

発行日：2019年3月  
発行人：野口陽輔

32号②



## ★ごあいさつ



日ごとに春めいてまいりましたが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。4月から新たな生活が始まる方、そうでない方も、3月は何かと慌ただしいと思います。季節の変わり目でもありますので、皆様体調など崩されませんよう、健康を第一に、新しい年度を迎えられることを祈念します。これからも、安心・安全なまちづくりを目指して活動していきたいと思っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

## ★平成31年第1回議会定例会報告

3月6日（水）、7日（木）、8日（金）、11日（月・予備日）の4日間に第54回議会定例会の一般質問が行われました。

その中で、市の抱えるさまざまな問題や課題などについて、市や教育委員会などに、その姿勢や施策を問いただしたポイントをご報告いたします。

### ◆市民クラブ一般質問

#### ○公共施設「合葬墓」の建設を要望

【質問】近年は核家族化の進展などにより、「お墓」の保有を躊躇するケースが全国的にある。対応策として、公営の墓地「合葬墓」を整備している市町村がある中、交野市にも合葬墓の建設を強く望みます。市の考えをお聞きかせください。

【回答】遠くない将来に交野市でも起こりえる課題の一つ。市民のニーズも調査しつつ、検証してまいりたい。

#### ○地域スポーツクラブと学校の連携強化を要望

【質問】小中一貫教育に代表されます、新しい学校づくりの中で、現在構想中の総合型地域スポーツクラブには、地域の文化スポーツ団体と学校との連携強化の架け橋となる役割を担う事を強く望みます。市の考えをお聞かせください。

【回答】単に児童や生徒の教育の場だけでなく、今後は地域の中で学校がどのような役割を果たせるのかが重要と考える。新しい学校づくりの中で、その可能性を練り込んでいきたい。

#### 野口の視点



「子供や孫が交野市を離れ、将来のお墓の維持管理を頼むのは気が引ける」という声も。合葬墓とは、市などが整備と維持管理をおこない、市民はいつでもお参りができるお墓です。交野らしいお墓の実現を目指してまいります。

#### 野口の視点



学校だけの部活動にも限界がある。活発に活動を行っている地域の団体にも入っていただく必要もあるのでは？

# ★主な地域活動

市議会議員としての活動の他に「教育」「環境」「スポーツ・文化」を軸とした地域活動の活性化にも力を入れています。それぞれの活動への皆様のご支援に感謝いたします。

■天の川わんぱく村第5期生(70名)が卒業、4月から第6期がスタート



■天の川清掃活動(4月~12月計9回)・竹炭づくりボランティア



■男のグルメ同好会・男のグルメ教室・交野市音楽協会



3月3日に「野口ようすけ感謝の集い」を開催しました  
「野口ようすけ 感謝の集い」は、日頃のご支援に対して、皆様  
に感謝の意をお伝えする場として、毎年開催させて頂いております。

今年は200名を超える方々に参加いただき、過去最高の参加人数  
となったこと、大変うれしく思いますと共に、身の引き締まる思  
いで、これからも交野市の発展に全力を注いでまいりたいと、決  
意を新たにしました次第でございます。

今後ともご支援の程、何卒よろしくお願い申し上げます。



野口ようすけ連絡先

日々の生活の中でお困りごとがあれば気軽にご相談ください。

電話/FAX 072-397-9615

ホームページ <http://ynoguchi.org/>

Eメール [ynoguchi\\_katano@hello.zaq.jp](mailto:ynoguchi_katano@hello.zaq.jp)

facebook 野口陽輔